

# PGW 2200 ソフトスイッチ : CDR ファイル作成の確認

Document ID: 60109

Updated: 2006 年 2 月 02 日

 [PDF のダウンロード](#)

 [印刷](#)

[フィードバック](#)

## 関連製品

- [Cisco SC 2200 シグナリング コントローラ](#)
- [Cisco PGW 2200 ソフトスイッチ](#)
- [Signaling System 7 \( SS7 \)](#)

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Cisco PGW 2200 での CDR 情報の確認](#)

[関連情報](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco PGW 2200 で Call Detail Recording ( CDR; 呼詳細レコード ) ファイルの作成を確認する方法について説明しています。Cisco PGW 2200 リリース 9.2(2) 以降では、CDR ファイルがバイナリ ファイルとして作成されます。その場合は、Cisco Billing and Measurements Server ( BAMS ) を使用して、バイナリ ファイルを FTP 経由で収集し、判読可能な Bellcore AMA Format ( BAF ) ファイルに加工する必要があります。このドキュメントでは、Cisco PGW 2200 でバイナリ ファイルを確認する方法について説明しています。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントの読者は次のトピックについて理解している必要があります。

- [Cisco メディア ゲートウェイ コントローラ ソフトウェア リリース 9](#)
- [Cisco Billing and Measurements Server](#)
- 『[課金インターフェイス](#)』の「呼詳細レコード ファイル出力の設定」セクション

## [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、Cisco PGW 2200 ソフトウェア リリース 9.3 および 9.4 に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## [Cisco PGW 2200 での CDR 情報の確認](#)

トラブルシューティングまたは検証のために CDR 情報を利用するには、TAC ツールを使用します。また、次の例に示すように、このツールでは `/opt/Toolkit/bin/MGC_Toolkit` コマンドを使用し、bin 形式を txt 形式に変換できます。

注: このツールは、毎日の課金レコード詳細の作成には使用できません。これは、( `/opt/Toolkit/tcl/TclPro1.4/solaris-sparc/bin/` ディレクトリの下にある ) `Protclsh83.bin` のジョブによって大量の CPU リソースが消費されるためです。スクリプト内で `MGC_Toolkit` を使用すると、Cisco PGW 2200 が輻輳状態に陥る可能性があります。顧客への課金のために Cisco PGW 2200 から CDR バイナリ ファイルを変換する必要がある場合は、このソリューションの [Cisco BAMS](#) アプリケーションを使用してください。MGC\_TOOLKIT はトラブルシューティング シナリオの一部に過ぎません。

```
Connected to PGW2200A.cisco.com.  
Escape character is '^]'.  
  
SunOS 5.8
```

```
login: mgcusr Password: PGW2200A% cd /opt/Toolkit/bin/ /opt/Toolkit/bin mgcusr@PGW2200A%  
MGC_Toolkit cdrconvert -input /opt/CiscoMGC/var/spool/cdr_20020904155525_008040.bin Reading the  
number 1 TLV record in filename:/opt/CiscoMGC/var/spool/cdr_20020904155525_008040.bin message  
tag ID is :1090 (File_Header) message tag 1090 length is : 93 tag ID is :4000 (Ver) tag 4000  
length is :1 Conversion Data Type: BE to IA5 tag 4000 value is : 1 tag ID is :4001 (Create_Tm)  
tag 4001 length is :4 Conversion Data Type: BE to DT tag 4001 value is : Jan 10 2002 GMT  
23:07:26 tag ID is :4002 (Call_Ref_ID) tag 4002 length is :8 Conversion Data Type: BE to HEX tag  
4002 value is : 0X0000000000000000 tag ID is :6001 (File_Start_Time) tag 6001 length is :4  
Conversion Data Type: BE to DT tag 6001 value is : Jan 10 2002 GMT 23:07:26 !--- Delete the  
other information, otherwise you will have four pages of information. !--- The tool's  
MGCC_Toolkit is built to check whether or not the bin files are corrupt.
```

また、`/opt/Toolkit/` ディレクトリで `toolbar.sh cdr` コマンドを発行すると、GUI を介して情報を受信できます。

```
mgc-bru-20%toolbar.sh cdr
```

注: UNIX 端末から Cisco PGW 2200 にアクセスする場合は、UNIX 端末で UNIX コマンド `xhost +`

を発行します (このユーザ コマンドの説明を表示するには、`man xhost` コマンドを発行します)。プロンプトで、ユーザ名 `mgcusr` を使用します。このユーザには、このアプリケーションに対する独自の環境設定が割り当てられています。

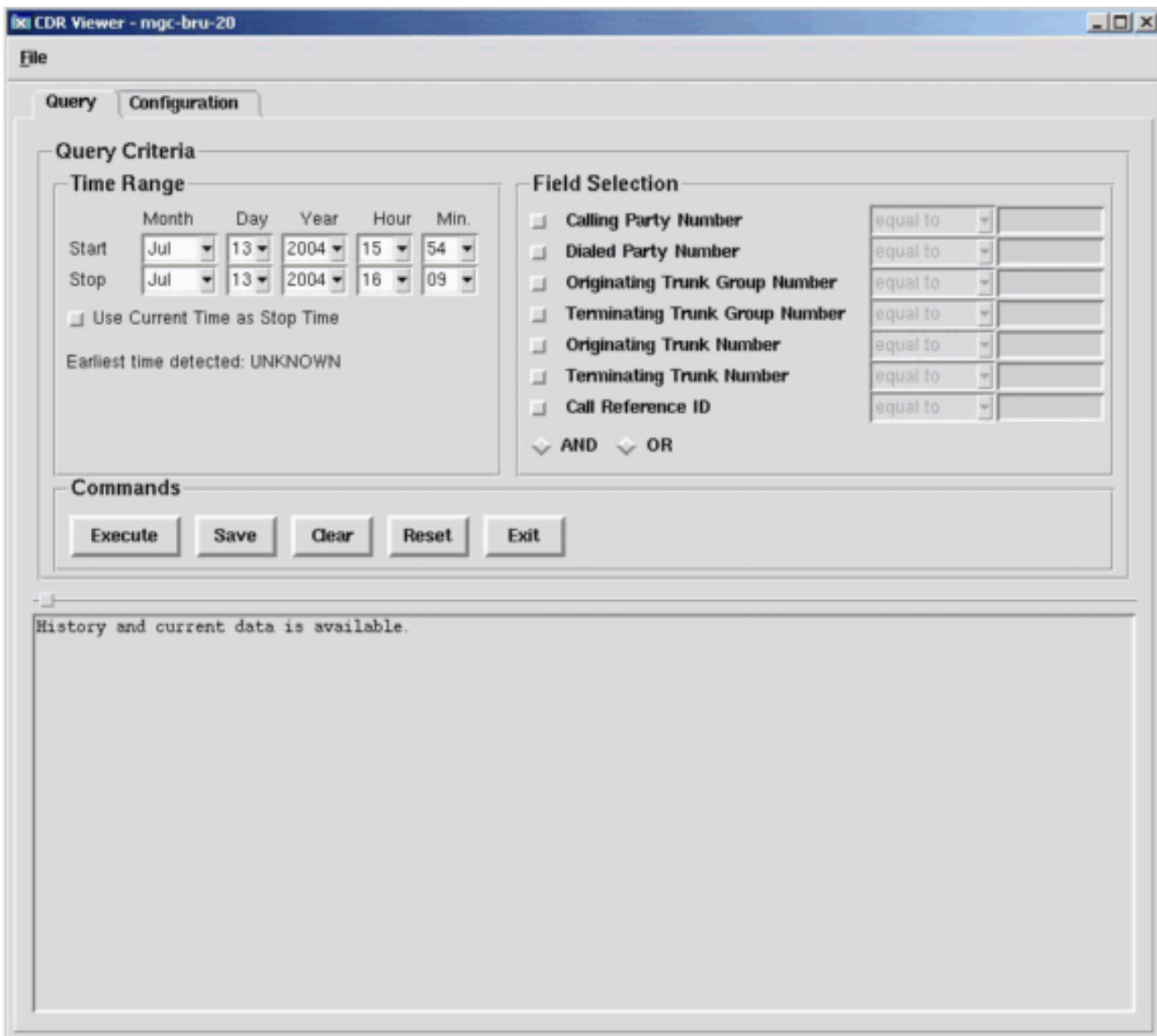
また、次の例に示すように、Cisco PGW 2200 で `DISPLAY` コマンドを追加します。

```
% telnet pgw2200A
```

```
Connected to PGW2200A.cisco.com.  
Escape character is '^]'.  
  
SunOS 5.8
```

```
login: mgcusr Password: PGW2200A% cd /opt/Toolkit/bin/ mgcusr@PGW2200A% setenv DISPLAY  
workstation_name:0.0 !--- Replace "workstation_name" with the workstation !--- where you wish to  
display this application. mgcusr@PGW2200A% toolbar.sh cdr
```

次の図は、`toolbar.sh cdr` コマンドを発行すると表示される GUI の例を示しています。



## [関連情報](#)

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

このドキュメントは有用でしたか。 [はい いいえ](#)

フィードバックいただき、ありがとうございました。

[サポート ケースのオープン](#) ( [シスコ サービス契約< ts generic='1' nval='P%1,2%%'が必要ですか](#) )。

## Cisco サポート コミュニティ - 特集対話

[Cisco サポート コミュニティ](#)では、フォーラムに参加して情報交換することができます。

このドキュメントで使用されている表記法の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Updated: 2006 年 2 月 02 日

Document ID: 60109